うしく里山の会　広報誌　　題字は 暫定

さとやま

No.25　　平成17年　3月

発行　NPO法人 うしく里山の会

事務局　〒300-1236　牛久市田宮町808-20
TEL 029-801-2500（代表　坂　弘毅）
E-mail u_satoyama@infoseek.jp
HP http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/

臨時総会開催

平成17年2月26日（土），初の臨時総会が行われました。議案は2つあり，
第1号議案は平成17年度「牛久自然観察の森」の一部業務を委託したいという牛久市の意向に対しての検討でした。
第2号議案は，来年度から牛久沼に隣接する「牛久市観光アヤメ園」の再生事業に携わるかというものでした。
2つとも大変重要な問題であったので，総会での審議となりました。いつもお世話になっているレンジャーさんや，管理に携わるフォレスターの方々を本会が雇用することに対して，不安であるとの意見が多く聞かれました。限られた予算のなかで「牛久自然観察の森」が，将来にわたり質の高い活動を維持し，地域に根ざした里山保全活動の中心的な役割を担っていくためには，私たち市民の目線からの運営がどうしても必要になるとのことでした。議論の末，会員みんなで牛久自然観察の森を支えていこうということで承認されました。
アヤメ園再生事業の議案においても，地域住民，小中学校を巻き込んだ新たなプロジェクトを組織し，活動にあたると言うことで承認されました。　　記　阿部（幸）
（※詳しい内容は同封した「議事録」ご覧ください）

全国植樹祭プレイベント開催

去る2月25日、茨城県立図書館において、（社）国土緑化推進機構・茨城県主催の第56回全国植樹祭のプレイベントが開催され「うしく里山の会」も参加しました。基調講演は、千葉市立中央博物館生態環境研究部長の中村俊彦さんによる「市民・行政・事業者の協働による里やまの保全と再生」のお話でした。森林ボランティア、環境NPOによるオリエンテーションがあり「うしく里山の会」も坂代表による報告を行いました。会場ではパネル展示もあり、ポスターセッションによる交流が行われ、各団体との交流を深めました。　　記　山田

パートナーシップ事業　2月24日「聞き取り調査」より

ーー小野川むかしーー

3回目となる調査でも楽しいお話の中から里山の暮らしをうかがい知ることができました。
その中から結束地区を流れる小野川の以前の様子をお知らせします。

牛久市の北西から南東に流れ霞ヶ浦に注ぐ小野川は、河川改修がされる戦後しばらくまでは、くねくねと蛇行し、よく氾濫を起こし田畑を水浸しにしていました。高い山からの水源があるわけではないのに、川幅は2～3m位、現在の観察の森付近をはじめとする手入れされた里山林の保水力のためか水量は豊富で深さは今よりも深かったようです。アユ、ヤマメ、ウナギ、タナゴ、ライギョと魚はいろいろで、子供たちは魚とりをしたり泳いで遊んだそうです。
水を汲み上げる手段が無かったので農業用水としては利用されなかったようですが、江戸川→関宿又は利根運河→利根川→霞ヶ浦→小野川と経由して物資を運ぶ水路としての一面を持っていました。
築180年と言われている結束の高嶋さん宅は、江戸から材木や瓦をこの水路を利用して運んで建てられたそうです。
地域を流れる小さな川が、昔　大都市江戸と直結していたとは驚きです。　　（記　丸山）

運営会議　議事録

日　時：平成17年2月19日（土）9：30～12：00
場　所：社会福祉協議会　第３会議室
参加者：【事務局】　坂、羽田、増田、山田、飯田、小林、梨本、丸山、高野、阿部（真奈美）、雨宮（記録者）【各Ｐ代表】横山【観察の森】 斉藤IP
【定足数の確認】
事務局スタッフ11名、各Ｐ代表3名、森2名、本会議は成立。
【報告事項】
１．いばらきコープより、助成金100，000円の認可を得る。
２．エコいばらきより、助成金150，000円の認可を得る。
３．日本財団には400，000円申請中、減額認可の可能性有。
【協議事項】
１．臨時総会に関して（平成17年2月26日10：00～）
・議案は、既連絡通り、1号議案：観察の森の業務委託。2号議案：アヤメ園の業務委託、3号議案：定款変更（事務所住所変更）とする。　定款変更に関しては、4月の年次総会時に一括して定款変更を行う方が、今回の臨時総会の趣旨に添うとの意見もあったが、既に会員へは連絡済みのため、本案通りとする。その他の定款変更に関しては、別途検討が必要。
・臨時総会議長は、理事よりの選出を避ける。
・採決は、一括採決とする。
・1、2号議案の経緯説明は、坂代表がＯＨＰにて行う。
2.議案に関する統一見解
　1，2号議案に関しては、混乱を避け、誤解を招かないよう、下記を事務局内での統一見解とする。
・委託業務は、収益事業では無いと考える。（法人税が必要な事業では無い）　代表回答者　：　増田
　※委託事業は、実費弁償による事業であり、残余金が発生した場合は返却が原則である。又、事前にＮＰＯ法人として管轄税務署長に対し収益事業では無い事を確認する必要がある。但し、来年度以降には収益事業を実施する可能性があるため、4月の年次総会時には、本件を含めた定款変更を検討する。
・無償作業と有償作業との区分に関しては、今後有償作業も発生する可能性があるため、別途検討中とする。代表回答者：坂
・現ＩＰ（レンジャー）の雇用形態に関しては、次年度一年間を準備期間と考え、ベストな方法を、別途検討中とする。代表回答者：坂
・1，2号議案に関しては、現状のプロジェクトに作業を強制する事は無く、新たなプロジェクトの一つとして考える。但し、協力のお願いはあるので、検討を願う。
・観察の森で実施中の、里山の会以外の会及び活動は、基本的には現状通りである。里山の会への入会を強制する事は無い。
・より一層開かれた観察の森とするため今後の運営に関しては、会員の方達より広くアイデアを募集したい。　（例として、フィルムコミッション、ビジターセンター、市民レンジャー育成、売店、喫茶ルーム等々）
・総会時には、多数質問が出ることが望ましい。但し、全く質問が出ない場合もあり得るため、別途質問を依頼しておくアイデアも出たが、適任者の推薦が無かったため、具体策には至ず。
3.定款記載の代表代行者指名に関しては、坂代表より山田副代表が指名された。
4.収益事業に関して、別途増田さんより補足説明があった。
5．アヤメ園事業に関し、水戸市植物園を訪問。　坂代表が工程表を作成したので、別途メール、若しくはファックスにて配信を予定。　具体的な実施体制の検討が必要。

雑木林応援隊　プロジェクト

雑木林応援隊報告

　2月11日、竹炭作り、正月に作った木炭を取り出し、刈って置いた孟宗竹を窯に詰め火入れ。翌日窯を閉じた。
　2月13日、ムジナの里。今日は柵つくり、昨年の春に実施したのだが、竹を切り出す時期ではないと注意され、とりあえずゴミの投げ捨て防止に6m余りの柵を建てた。石塚師匠に相談し当日は簡単に図化していただき説明。寸法に合わせて竹の切り出し支柱のための穴を掘り、支柱に横3段の竹を取り付け、最後に縦の竹材をイボ結びで締める。春にも行ったが難しい。そんな中で井上（里枝）さんだけが出来一番弟子である。
　どうにか一ブロックを完成することが出来た。次回この続きを行うので、自宅に竹垣を作りたい方は参加を。
　2月27日　晴れ。臨時総会の翌日、ボランティアなのに自分も含めて感心。雑木林の維持管理の工程から遅れているジュケイの林の伐採。柳下さんより萌芽更新のためできるだけ根元で切ってくださいと、依頼されていた道路脇3本の株立ちのクヌギの根元は周長は2m以上はある。3本を上で伐採しその後、雨宮さんが一人チェーンソーで一日掛かりで処理した。
　6本の株立ちの山桜、バランスを考えて一回で伐採を考え準備してから石塚頭領に見ていただく。ワイヤーで引っ張る支点の木を見て、これでは支えきれないので一本づつ切りなさいと指導された。脱帽。合計10本ほど伐採した。
　予定
3月13日　ムジナの里　柵つくりその他。
3月19日　木炭つくり、
3月27日　ＮＣ9時30分　次年度計画　何かやりたい事、応援隊全員集合（参加したことがない人も）　記　飯田

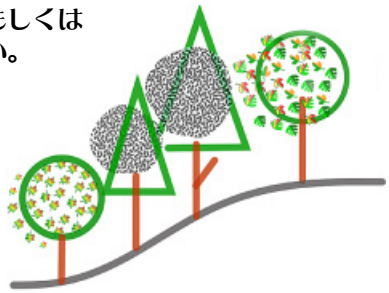
こども星見隊　プロジェクト

こども星見隊日記

　天気予報は「雨」。天気予報は当たる。マナちゃんからは「それでも本日は室内で実施します」のメールが届き、スタッフは室内プログラムへと気持ちを切り替えた。5時半にネイチャーセンターに到着すると、テーブル上には恒例のマナちゃんお手製のドングリグッズが並んでいた。忙しい中、あれをいつ作るのか不思議だ。室内プログラムは「星座ゲーム」「はじめまして」のレクリエーションから始まり、メインイベントの田中さんのスライド上映。こども向けに作られているが、いつしか私も関心しつつ見入っていた。星座早見盤を作成後「質問コーナー」が始まる。「宇宙には星はいくつあるの？」「ブラックホールは本当にあるの？」と質問が飛び出してくる。「今日の質問は鋭いぞ」と思いつつ適切な（苦しい？）講師の回答を楽しんで聞いた。
　イベントは終了し、反省会のため一同はいつものココスに向かう。アマチュア天文家たちの想像力はの広さは宇宙並みで話は尽きない。終わったのは12時過ぎ。天気は残念であったが、長く楽しい夜であった。
記　中山

プロジェクト活動報告

各プロジェクト活動を紹介しています。
より詳しくはホームページもしくは
森の掲示板をごらんください。



現在３つのプロジェクトが
ホームページを立ち上げています。
アクセスは里山の会HPからリンクしています。

そば　プロジェクト

出来ました!! 手打ちそば!

12月19日（日）は寒い日でしたが、外でそば打ちをするには最高の日でした。テーブルを7つ観察舎前に運び、お湯を沸かす準備もOK。講師の秋山さんの説明と実習をみてから、自分のグループにもどって早速実行。昨年と同様つなぎに卵を使ず、そばの味がそのまま楽しめる方法で行いました。小麦粉は二割使う二八そばです。ふつうは500gで打つのですが、今回は初めての人でも打ちやすい300gです。
中には打ち粉と、小麦粉をまちがえて、10割そばで打ったグループもありました。そば粉100%のそば打ちは難しいと言われてい、上級になったら挑戦する方法だと思いこんでいましたが、どうして長いそばに出来上がっています。園長先生には、そばがきを指導してもらいました。湯飲み茶碗にそば粉を入れ、熱湯を入れてガーッとかきまぜる。「外に飛び散るほど素早く混ぜるのがいいんだよ。」とのこと、ここでもそばの量が本で教えているよりずいぶん少ない。「コツ」と言うのはこういうことなのですね。2人のお子さんには、ギョウザの皮のように作っていました。「こういうのが、おもしろいんだよ」と園長先生が言っていましたが、大人には出来ない遊び心です。

記　横山

雑木林畑隊　プロジェクト

唐箕をかける

今年最初の畑隊の活動は、予定日が降雪で阻まれたので、翌日に変えたのですが、畑にはまだ雪が残っていたので、唐箕を使用することになりました。内容は、昨秋収穫し乾燥保管しておいたエゴマとハトムギです。
唐箕は観察舎からお借りしたのですが、触れるのは小学生以来のことですから、当初はこわごわ。間もなく梨本（昭）さんの手慣れたサバキで、予想外に早めに作業を終了。また結果も予想外に精度が高く、実とゴミの選別が見事に行われており、今更にヒト以外に動力を持たぬ先人の技術に敬服した次第です。
唐箕をかけ終えたエゴマは、持ち帰って、水洗いを5回ほど繰り返し、日照乾燥したものが約1kg余り、これは応援隊の活動日に提供する予定。ハトムギは5kgですが、これは脱穀を工夫してから供したいと考えています。

記　小野寺

里山歩きプロジェクト

光が春をはこぶ…。

大寒から立春を過ぎる頃その光の量は1、5倍になるそうだ。2月14日は魚上氷、うおこおりをいずる「魚が解けた氷の間から姿を現す」春の気配とか兆しが感じられる2月の里山歩きは東大和田のヤブ椿から。4，50本はあるのかそこに暮らす人々の小さな神社である。山林を通り抜け西大通りを渡ってひたちの公園に。華やかな新住宅街を背に狸穴の集落に入る。大きな樹木や巨木の屋敷林があり、夏の暑さや、強い季節風農村の様々な暮らし、など守ってきたが今は減少している。本当にこのような所に来るとホッとする。今も続くお祭りも残っている。風は冷たいが陽だまりとなって陽光をたっぷり浴びながら市民の木の1，2の八幡神社へ。見上げてもまだ樹上が高いケヤキ、エノキ、「推定400年」まだこの辺りが開発される前は小野川村から目印となったそうだヒガンバナ、キツネノカミソリ、などがある。荒れた雑木林を歩き公園を周りカワセミを見て集落のはずれの西大通の車がバンバンと走る崖下にフキノトウがあった。「陽光をあつめて匂ふフキノトウ」。まさに早春、何かが心をゆさぶる。南関東では減っている。大事にしたい植物だ。次回3月12日「第二土曜日」春の陽を浴びて。乙戸川、桂川周辺、観察の森P9：00弁当、汚れても良い服装。
029－873－6562　　高野

食事前、全員で記念撮影　パチリ！

3月の里山カレンダー

牛久自然観察の森休園日　NC はネイチャーセンター　P は駐車場　PS はパートナーシップ事業　◯ は休日　空欄は追加の予定を。

1	火	会報編集	9:30NC（社協）
2	水		
3	木	会報発送	10:00NC
4	金		
5	土	森のレクチャー 運営会議	10:00NC 9:30NC
6	日		
7	月		
8	火		
9	水	雑木林応援隊（畑）	13:00
10	木		
11	金		
12	土	里山歩き	9:00P
13	日	雑木林応援隊	9:30ムジナの里
14	月	刈払機講習会	
15	火		

16	水		
17	木	里山百選	9:30社協
18	金		
19	土		
20	日		
21	月		
22	火	チェンソー講習	
23	水	チェンソー講習	
24	木	雑木林応援隊（畑） PS聴き取り	13:00 9:30NC
25	金	PSホタル	9:30NC
26	土		
27	日	雑木林応援隊	9:30NC
28	月	会報原稿締め切り	
29	火	会報編集	9:30NC（社協）
30	水	会報発送	10:00NC
31	木		

変更になる場合があります。HPを参考にご覧ください。

♥ イベント情報・プロジェクト情報 ♥

★　予告：「わんぱくビートルズ！2005年度プログラム」　★

カブトムシの幼虫を育ててみませんか？
わんぱくビートルズは，カブトムシの飼育をとおして命の大切さと里山の暮らしを学ぶ環境教育プログラムです。
うしく里山の会と牛久自然観察の森の共同プログラムとして，2003年4月から行っています。
2005年度は，5月と7月の第3土曜日，計2回を予定しています。
申込み方法など，詳しくは次号（４月号）でご案内します。
（観察の森：依田，うしく里山の会：今泉，阿部）

★じゃがいもプロジェクト★

昨年は、ワセシロ、キタマカリ、皮の赤井アンデスレッドや紫色のパープルなど、6種類のジャガイモを植え付けました。花も、白、ピンク、紫ときれいでした。さて今年は、、、？ジャガイモの「種いも植えから、収穫祭まで」を楽しみます。

日程
1、種いも植え　4月3日（日）（雨天）4月10日（日）
2、芽かき　5月15日（日）（雨天）5月22日（日）
3、土よせ　7月29日（日）（雨天）7月17日（日）
4、収穫祭　7月10日（日）（雨天）7月17日（日）

場所　牛久自然観察の森　梅林奥の畑
時間　午前9時30分から約2時間
（収穫したジャガイモは持ち帰ります）
申込み、問い合わせ　横山　029-872-1430

会報のお問い合せは　広報委員会　丸山　0297-66-4876　または
山田　029-872-9202　迄ご連絡ください。